Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名
1	給付金加算等措置	原子力発電施設周辺地域加算給付金交付事業

補助事業者名又は間接補助事業者名	いちき串木野市
補助事業実施場所	いちき串木野市　羽島・荒川地区
補助事業の概要	小売電気業者等から電気の供給を受けている一般家庭，工場等に対する給付金
補助事業に関係する主要政策・施策と目標	小売電気事業者等から電気の供給を受けている住民・企業等に給付金を交付することで、原子力関連施設の設置・運転の理解促進を図るとともに、地域住民の福祉の向上を図ります。

事業開始年度	令和７年度	事業終了（予定）年度	令和７年度
事業期間の設定理由			

補助金事業の成果目標及び成果実績

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和８年度
給付金を必要とする者への支給率100%	支給実績による	成果実績	%	100	
		目標値	%	100	
		達成度	%	100	

評価年度の設定理由

毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。

補助事業の定性的な成果及び評価等

当該地区の電灯需要家及び電力需要家に対して、従来の原子力立地給付金に加算（電灯需要家1戸あたり250円・電力需要家1kWあたり63円）することで、住民の不均衡感を取り除き、地区住民の生活の安定を確保するとともに、原子力発電の必要性についての理解につながり、地域住民の福祉の向上を図ることができました。
加算給付金交付実績
・電灯需要家3,384,000円（250円×13,536戸）
・電力需要家1,039,629円
①　１kWあたり（63円×16,503kW＝1,039,689円）
②　0.5kW減額調整（0.5円×10口×12月＝60.0円）
③　①－②（1,039,689円－60円＝1,039,629円）

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

補助事業の活動指標及び活動実績

活動指標		単位	令和５年度	令和６年度	令和7年度
加算給付金の給付額（電灯需要家契約口数×250円+電力需要家契約kw数×63円）	活動実績	円	4,604,019	4,595,235	4,423,629
	活動見込	円	5,164,689	5,023,191	4,885,053
	達成度	%	89.1%	91.5%	90.6%

補助事業の総事業費等

	令和５年度	令和６年度	令和７年度	備考
総事業費	5,119,282	5,107,915	5,023,900	総事業費合計（125,198,842）
補助金充当額	5,119,282	5,107,915	5,023,900	平成16年度～令和７年度
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	5,119,282	5,107,915	5,023,900	

補助事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
加算給付金の交付	補助	一般財団法人電源地域振興センター（東京都中央区）	5,023,900

補助事業の担当課室	いちき串木野市企画政策課
補助事業の評価課室	いちき串木野市企画政策課

（備考）（１）　事業ごとに作成すること。
（２）　番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
（３）補助事業の概要の欄は，事業内容，必要性，期待される効果等を記載すること。
（４）補助事業に関係する主要政策・施策とその目標の欄は，当該事業が関連づけられている上位政策・施策とその目標を記載すること。
（５）事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
（６）成果目標及び成果指標の欄は，補助事業に関係する主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。
当該事業の定量的評価が困難な場合には，成果目標の欄に，定性的な目標を，補助事業の定性的な成果及び評価等の欄に，定性的な成果及び評価を記載すること。
（７）評価年度及び評価年度の設定理由の欄は，補助事業の内容，成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
（８）成果実績の欄は，評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし，評価年度が到来していない場合は，成果実績の欄は空欄とし，評価年度に別途，報告を行うこと。
なお，成果実績を別途報告する際に，補助事業の評価に第三者機関等を活用する場合には，当該機関等による評価についても，併せて報告を行うこと。
（９）補助事業の定性的な成果及び評価等の欄は，上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか，成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
(10)評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については，第三者機関等を活用した場合にあっては，第三者機関等の名称及び構成員等を記載
(11)補助事業の活動指標及び活動実績の欄は，当該事業の進捗度，利用量等の活動量を記載すること。
(12)補助事業の契約の概要の欄は，契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
(13)補助事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を，補助事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	薩摩藩英国留学生記念館改修事業

補助事業者名又は間接補助事業者名	いちき串木野市
補助事業実施場所	いちき串木野市羽島地内
補助事業の概要	薩摩藩英国留学生記念館は、幕末、英国に密航し、日本の近代化に貢献した19名の薩摩藩士の功績を称えるため、2014年に開館しました。開館以来、市民の郷土愛醸成や憩いの場、観光交流の拠点として約24万人の来館者を迎えるなど本市を代表する施設となっています。 現在、10年が経過し2階展望デッキが風雨・塩害による老朽化が進み、特に手摺と土台の腐食が著しかったため、耐久性のある素材により改修を行い、来館者の安全性を確保し、魅力ある施設となるよう整備しました。 【薩摩藩英国留学生記念館改修】 2階デッキ等改修工事 デッキ既存手摺改修工事（FRP製手摺） 既存マスト塗装改修工事 既存マストのロープ・滑車取替 デッキ床塗装改修工事　50.4㎡ デッキ外壁（木部）塗装改修工事　22.5㎡
補助事業に関係する主要政策・施策と目標	【主要政策・施策】 いちき串木野市第2次総合計画（後期計画）（令和4年度～令和8年度） 基本計画 第1編　分野別振興方向 第3章　世界に羽ばたく力強い産業が展開する『活力のある産業のまちづくり』 第1節　産業経済 7）観光の振興 主要施策 （1）観光資源の整備等 【目標】 薩摩藩英国留学生記念館来館者数15,000人／年間（令和8年度）
事業開始年度	令和7年度　／　事業終了（予定）年度　／　令和7年度
事業期間の設定理由	

補助金事業の成果目標及び成果実績

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和８年度
薩摩藩英国留学生記念館年間来館者数15,000人	令和８年度の薩摩藩英国留学生記念館年間来館者数	成果実績	人		
		目標値	人		15,000
		達成度	%		

評価年度の設定理由
1年間の利用者数を集計して評価するため、事業実施翌年度に評価を実施
補助事業の定性的な成果及び評価等
展望デッキの改修を行うことにより、来館者の安全性の確保が図られるとともに、魅力ある施設となりました。 今後も適正な維持管理を行い、来館者の安全性の確保に努めます。
評価に係る第三者機関等の活用の有無
無

補助事業の活動指標及び活動実績

活動指標		単位	令和7年度		
薩摩藩英国留学生記念館改修	活動実績	式	1		
	活動見込	式	1		
	達成度	%	100		

補助事業の総事業費等	令和７年度			備考
総事業費	17,208,000			
補助金充当額	12,600,760			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	12,600,760			

補助事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
薩摩藩英国留学生記念館改修工事	条件付一般競争入札	有限会社サカシタ（いちき串木野市）	17,208,000

補助事業の担当課室	いちき串木野市シティセールス課
補助事業の評価課室	いちき串木野市シティセールス課

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名
3	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道住吉・御倉町線道路改良事業

補助事業者名又は間接補助事業者名	いちき串木野市
補助事業実施場所	いちき串木野市住吉町～御倉町
補助事業の概要	市道住吉・御倉町線は、路面等の老朽化に伴い、近隣の住宅では大型車両の通行時に大きな振動が発生していたことから、改修事業に補助金を充当して舗装等の整備を行い、住環境の改善を図りました。 （事業量） 施工延長　Ｌ＝180.4m Ｗ＝8.0m 舗装工　Ａ＝1334.8㎡
補助事業に関係する主要政策・施策と目標	【主要政策・施策】 いちき串木野市第2次総合計画（後期計画）（令和4年度～令和8年度） 基本計画 第1編　分野別振興方向 第4章　利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』 第1節　社会基盤 1）道路・交通網の整備 主要施策 （2）生活道路の充実　①生活道路の改良及び整備改修（側溝・舗装） 【目標】 市道住吉・御倉町線における安全に通行できる道路の割合100%（令和8年度）

事業開始年度	令和7年度	事業終了（予定）年度	令和7年度
事業期間の設定理由			

補助金事業の成果目標及び成果実績

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和８年度
市道住吉・御倉町線における安全に通行できる道路の割合100%	令和７年度末時点で安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%		100
		目標値	%		100
		達成度	%		100

評価年度の設定理由

事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。

補助事業の定性的な成果及び評価等

当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。
今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

補助事業の活動指標及び活動実績

活動指標		単位	令和７年度		
市道住吉・御倉町線における道路整備延長	活動実績	m	180.4		
	活動見込	m	180.4		
	達成度	%	100		

補助事業の総事業費等	令和7年度			備考
総事業費	30,153,000			
補助金充当額	27,300,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	27,300,000			

補助事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
市道住吉・御倉町線道路改良工事	条件付一般競争入札	株式会社満留建設（いちき串木野市）	30,153,000

補助事業の担当課室	いちき串木野市都市建設課
補助事業の評価課室	いちき串木野市都市建設課

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名
4	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道栄町・中尾町1号線道路改良事業

補助事業者名又は間接補助事業者名	いちき串木野市
補助事業実施場所	いちき串木野市栄町～中尾町地内
補助事業の概要	市道栄町・中尾町1号線は、路面等の老朽化に伴い、近隣の住宅では大型車両の通行時に大きな振動が発生していたことから、改修事業に補助金を充当して舗装等の整備を行い、住環境の改善を図りました。 （事業量） 市道栄町・中尾町１号線道路改良工事 施工延長　Ｌ＝82.5m Ｗ＝6.0m 舗装工　Ａ＝442.3㎡
補助事業に関係する主要政策・施策と目標	【主要政策・施策】 いちき串木野市第2次総合計画（後期計画）（令和4年度～令和8年度） 基本計画 第1編　分野別振興方向 第4章　利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』 第1節　社会基盤 1）道路・交通網の整備 主要施策 （2）生活道路の充実　①生活道路の改良及び整備改修（側溝・舗装） 【目標】 市道栄町・中尾町１号線における安全に通行できる道路の割合100%（令和8年度）
事業開始年度	令和7年度
事業終了（予定）年度	令和7年度
事業期間の設定理由	

補助金事業の成果目標及び成果実績

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和８年度
市道栄町・中尾町１号線における安全に通行できる道路の割合 100%	令和７年度末時点で安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%		100
		目標値	%		100
		達成度	%		100

評価年度の設定理由
事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。

補助事業の定性的な成果及び評価等
当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。 今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。

評価に係る第三者機関等の活用の有無
無

補助事業の活動指標及び活動実績

活動指標		単位	令和7年度		
市道栄町・中尾町１号線における道路整備延長	活動実績	m	82.5		
	活動見込	m	82.5		
	達成度	%	100		

補助事業の総事業費等	令和7年度			備考
総事業費	16,183,000			
補助金充当額	15,400,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	15,400,000			

補助事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
市道栄町・中尾町１号線道路改良工事	条件付一般競争入札	株式会社国料建設（いちき串木野市）	16,183,000

補助事業の担当課室	いちき串木野市都市建設課
補助事業の評価課室	いちき串木野市都市建設課

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名
5	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道日出町10号線道路改良事業

補助事業者名又は間接補助事業者名	いちき串木野市
補助事業実施場所	いちき串木野市日出町地内
補助事業の概要	市道日出町10号線は、路面等の老朽化に伴い、近隣の住宅では大型車両の通行時に大きな振動が発生していたことから、改修事業に補助金を充当して舗装等の整備を行い、住環境の改善を図りました。 （事業量） 施工延長　Ｌ＝110m Ｗ＝4.06m 舗装工　Ａ＝295.5㎡
補助事業に関係する主要政策・施策と目標	【主要政策・施策】 いちき串木野市第2次総合計画（後期計画）（令和4年度～令和8年度） 基本計画 第1編　分野別振興方向 第4章　利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』 第1節　社会基盤 1）道路・交通網の整備 主要施策 （2）生活道路の充実　①生活道路の改良及び整備改修（側溝・舗装） 【目標】 市道日出町10号線における安全に通行できる道路の割合100%（令和8年度）
事業開始年度	令和7年度　／　事業終了（予定）年度　／　令和7年度
事業期間の設定理由	

補助金事業の成果目標及び成果実績

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和8年度
市道日出町１０号線における安全に通行できる道路の割合100%	令和７年度末時点で安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%		100
		目標値	%		100
		達成度	%		100

評価年度の設定理由

事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。

補助事業の定性的な成果及び評価等

当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。
今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

補助事業の活動指標及び活動実績

活動指標		単位	令和7年度		
市道日出町10号線における道路整備延長	活動実績	m	110.0		
	活動見込	m	110.0		
	達成度	%	100		

補助事業の総事業費等

	令和7年度			備考
総事業費	19,584,000			
補助金充当額	17,700,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	17,700,000			

補助事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
市道日出町10号線道路改良工事	条件付一般競争入札	串木野建設工業株式会社（いちき串木野市）	19,584,000

補助事業の担当課室	いちき串木野市都市建設課
補助事業の評価課室	いちき串木野市都市建設課

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道島内松原線道路改良事業

補助事業者名又は間接補助事業者名	いちき串木野市
補助事業実施場所	いちき串木野市大里地内
補助事業の概要	市道島内松原線は、路面等の老朽化に伴い、近隣の住宅では大型車両の通行時に大きな振動が発生していたことから、改修事業に補助金を充当して舗装等の整備を行い、住環境の改善を図りました。 （事業量） 施工延長　Ｌ＝117m Ｗ＝7.0m 舗装工　Ａ＝429㎡
補助事業に関係する主要政策・施策と目標	【主要政策・施策】 いちき串木野市第2次総合計画（後期計画）（令和4年度～令和8年度） 基本計画 第1編　分野別振興方向 第4章　利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』 第1節　社会基盤 1）道路・交通網の整備 主要施策 （2）生活道路の充実　①生活道路の改良及び整備改修（側溝・舗装） 【目標】 市道島内松原線における安全に通行できる道路の割合100%（令和8年度）

事業開始年度	令和7年度	事業終了（予定）年度	令和7年度
事業期間の設定理由			

補助金事業の成果目標及び成果実績

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和８年度
市道島内松原線における安全に通行できる道路の割合100%	令和７年度末時点で安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%		100
		目標値	%		100
		達成度	%		100

評価年度の設定理由

事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。

補助事業の定性的な成果及び評価等

当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。
今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

補助事業の活動指標及び活動実績

活動指標		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市道島内松原線における道路整備延長	活動実績	m	113	－	117
	活動見込	m	113	－	117
	達成度	%	100	－	100

補助事業の総事業費等		令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
総事業費		19,635,000	－	19,898,000	令和3年度～令和7年度の総事業費 78,541,000円
補助金充当額		18,770,000	－	18,700,000	
	うち文部科学省分				
	うち経済産業省分	18,770,000	－	18,700,000	

補助事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
市道島内松原線道路改良工事	条件付一般競争入札	久木園建設株式会社（いちき串木野市）	19,898,000

補助事業の担当課室	いちき串木野市都市建設課
補助事業の評価課室	いちき串木野市都市建設課

Ⅱ．事業評価個表

番号	措置名	補助金事業名
7	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道口之町4号線道路改良事業

補助事業者名又は間接補助事業者名	いちき串木野市
補助事業実施場所	いちき串木野市口之町地内
補助事業の概要	市道口之町4号線は、路面等の老朽化に伴い、近隣の住宅では大型車両の通行時に大きな振動が発生していたことから、改修事業に補助金を充当して舗装等の整備を行い、住環境の改善を図りました。 （事業量） 施工延長　L＝54.0m W＝4.0m 舗装工　A＝192.4㎡
補助事業に関係する主要政策・施策と目標	【主要政策・施策】 いちき串木野市第2次総合計画（後期計画）（令和4年度～令和8年度） 基本計画 第1編　分野別振興方向 第4章　利便性が高く美しいまちを創造する『快適な環境のまちづくり』 第1節　社会基盤 1）道路・交通網の整備 主要施策 （2）生活道路の充実　①生活道路の改良及び整備改修（側溝・舗装） 【目標】 市道口之町4号線における安全に通行できる道路の割合100%（令和8年度）
事業開始年度	令和7年度
事業終了（予定）年度	令和7年度
事業期間の設定理由	

補助金事業の成果目標及び成果実績

成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和8年度
市道口之町4号線における安全に通行できる道路の割合100%	令和７年度末時点で安全に通行できる道路延長/路線延長×100	成果実績	%		100
		目標値	%		100
		達成度	%		100

評価年度の設定理由

事業完了が年度末となるため、事業実施翌年度に評価を実施。

補助事業の定性的な成果及び評価等

当事業において舗装等の整備を行い、老朽化していた路面を改良したことで、車両走行時の安全性が向上し、また、近隣住宅への振動や騒音の減少にもつながりました。
今後も、老朽化した舗装や側溝の整備に努めます。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

補助事業の活動指標及び活動実績

活動指標		単位	令和7年度		
市道口之町4号線における道路整備延長	活動実績	m	54		
	活動見込	m	54		
	達成度	%	100		

補助事業の総事業費等

	令和7年度			備考
総事業費	5,112,000			
補助金充当額	4,500,000			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	4,500,000			

補助事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
市道口之町４号線道路改良工事	条件付一般競争入札	有限会社坂口組（いちき串木野市）	5,112,000
計			

補助事業の担当課室	いちき串木野市都市建設課
補助事業の評価課室	いちき串木野市都市建設課